



平成 20 年 2 月 28 日

各 位

会社名 株式会社 ナイガイ
代表者名 取締役社長 林 勇 二
(コード番号 8013 東証第一部)
問合せ先 取締役スタッフ担当 油 利 隆 文
(TEL 03-5822-3810)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 12 月 14 日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 1 月期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 2 月 1 日～平成 20 年 1 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	37,000	△1,000	△900	△1,000
今回修正予想 (B)	36,500	△2,000	△1,900	△2,500
増減額 (B-A)	△500	△1,000	△1,000	△1,500
増減率 (%)	△1.4	—	—	—
前期(平成 19 年 1 月期)実績	37,529	△232	122	172

2. 平成 20 年 1 月期業績予想数値の修正 (平成 19 年 2 月 1 日～平成 20 年 1 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	28,000	△700	△500	△1,200
今回修正予想 (B)	27,500	△1,000	△900	△2,600
増減額 (B-A)	△500	△300	△400	△1,400
増減率 (%)	△2.1	—	—	—
前期(平成 19 年 1 月期)実績	28,365	△453	△74	108

3. 修正の理由

当会計期間の連結業績は、年末・年初の商戦における予想を上回る衣料消費の落ち込みにより、売上高が前回予想を下回りました。また、営業利益及び経常利益につきましても、販管費の削減に努めましたものの、売上高の減少とプロパー消化率の低下による粗利益の減少により前回予想を大きく下回る結果となりました。当期純利益につきましては、投資有価証券の売却損（約 132 百万円）及び減損損失（約 77 百万円）等の特別損失の増加によるものであります。

単体の業績につきましては、上記の連結業績修正と同様の理由により、売上高、営業利益及び経常利益とも、前回予想を下回る結果となりました。当期純利益につきましては、子会社投資損失引当金の特別損失（約 10 億円）の追加計上等によるものであります。

なお、上記の当期業績予想を受け、昨年策定した中期経営計画を含めた事業の抜本的な見直し作業に入っております。この結果については、見直し作業が終わり次第、すみやかに発表する予定であります。

以 上